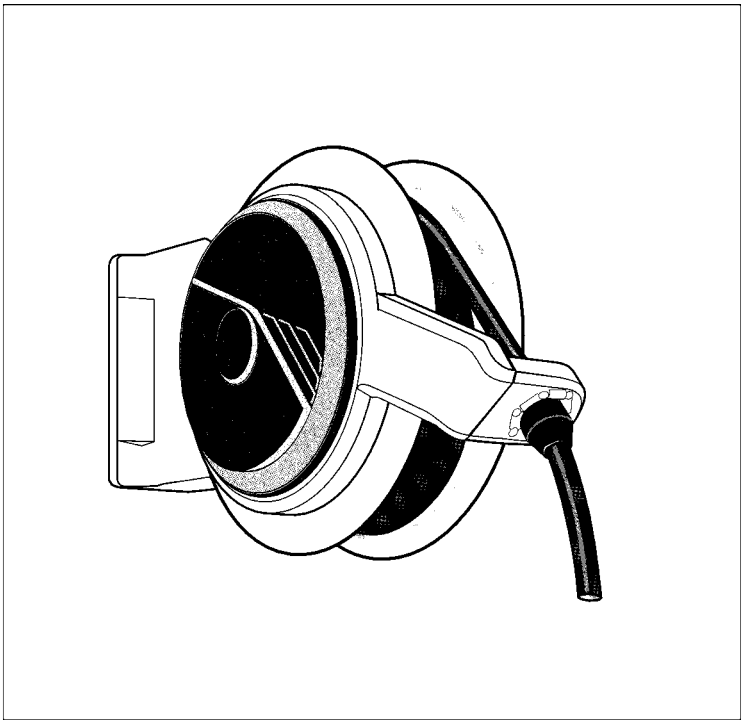
Doc.No.	HRS 001U－01

yamada

取 扱 説 明 書

ホースリール　NSHR（884）シリーズ

HOSE REEL



⚠ 警 告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書をよく熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。 また、本取扱説明書をいつでも使用できるように大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本機が故障なく充分に皆様のお役にたちますことを念願して、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。
この説明書を読む前に、本機の取扱い操作は行なわないでください。
特に、注意事項について熟読されると共に、本書を常に手元に置いてご活用ください。
尚、ご使用中にご不明の点・不具合がございましたら、お買い上げの販売店又は裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

＊ 取扱説明書、注意ラベル等を汚損・紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

目　次

はじめに 1
目次 1
1. 使用目的 2
2. 警告・注意事項 2
3. 使用上の注意事項 2
4. 各部の名称 3
5. 設置前の確認 3
　5. 1 梱包内容品の確認 3
　5. 2 最高使用圧力の確認 4
6. 取付け・接続方法 4
　6. 1 取付け方法 4
　6. 2 サービスホース出口方向の決定 5
　6. 3 配管への接続 5
7. 取扱い 5
　7. 1 ラチェット機構 5
　7. 2 ホースの選択 6
　7. 3 ホースの取付け 6
　7. 4 スプリング張力の調整 7
8. 保守・点検 7
9. 修理について 8
10. 部品分解図 9
11. 仕様と外観寸法 10
12. 保証規定 ..... 巻末

1. 使用目的

本機は、整備工場・ガソリンスタンドをはじめ各種生産工場において、作業場の天井・壁面あるいは床面などに取付け、エアー・オイル・水等の供給に使用するスプリング（ゼンマイバネ）式ホースリールです。
サービスホースは、必要な時に引き出して使用しますが、内蔵のラチェット機構により任意の長さでロックすることができ、また作業終了後はスプリングにより巻き戻され、他の作業の邪魔になることはありません。

2. 警告・注意事項

安全にご使用いただく為に

本機を安全にご使用いただく為に、下図の警告マークを付して注意事項を記載しております。
人身事故・物損事故等を起すことのない様に、注意事項を必ず守っていただくようにお願いします。

⚠ 警 告　　⚠ 注 意

⚠ 警 告

この取扱説明書では、「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。
警告表示は、安全作業のための重要な事柄です。
人身事故や物的損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

⚠ **警告** ：取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意** ：取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損害の発生が想定される場合。

NOTE ：作業の効率化及び機器の保全がはかれる場合に記載しております。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は、大変重要ですので必ず守ってください。

⚠ 警 告

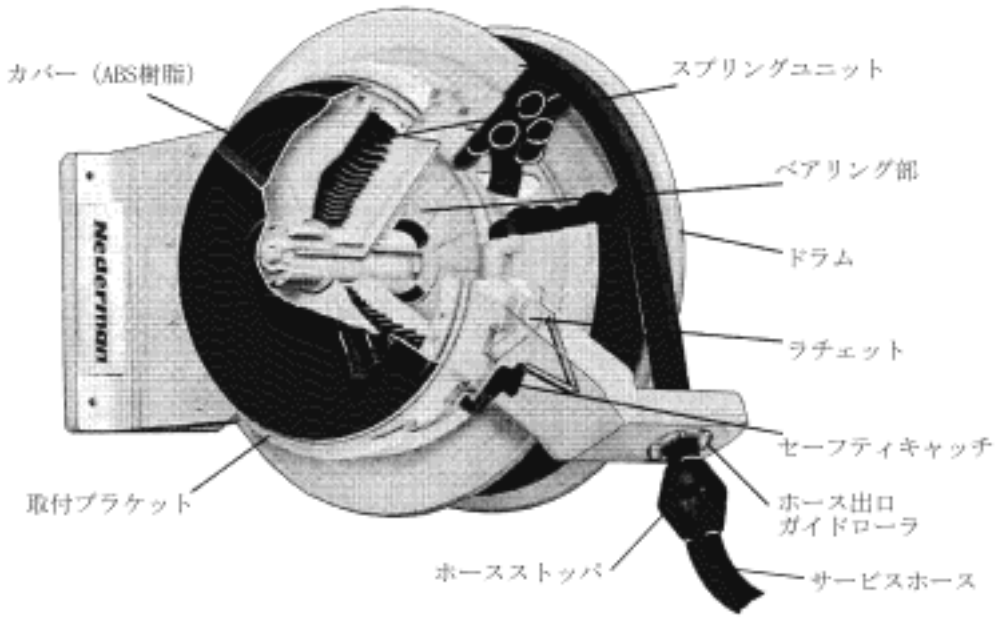
● 作業終了後、サービスホースを巻き戻す時に瞬時にホースから手を放しますと、先端に取付けられたガン等が、巻き取りスプリングの力によって左右に振り廻され、人身事故や付近の物品を壊すことがありますので、サービスホースの取扱いには充分に注意してください。

⚠ 注 意

- サービスホースの巻き取り等で不具合が発生しました場合には、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 不用意に分解しますと、強力なスプリング（ゼンマイバネ）が飛び出し、重大なケガをすることがあります。
- 作業終了後及び夜間や休日には、必ず本機への供給源を止めてホース内の圧力を抜いてください。
  供給源を止めず、ホースに圧力がかかったままパッキン・ホース類の損耗により材料（供給材）が洩れ、施設を汚染させるなどの二次災害については使用者側の責任になります。
- 水用ホースリールを冬季に使用する場合には、凍結防止処置としてイン側ホースを接続部より外して、サービスホースを全部引き出し、エアブローなどの水抜きをしてください。
- 本機を改造することは絶対に行なわないでください。
  改造しますと機能変化を起すだけでなく、人身事故や故障を生じる恐れがあります。

NOTE ： サービスホースを引き出していくと、必ず引き出し終了になります。 無理に引っ張ったりすると、巻き取りスプリング・サービスホースリールの損傷や破損の原因になりますので注意してください。

4. 各部の名称



5. 設置前の確認

5. 1 梱包内容品の確認

梱包を開梱し、製品の損傷ならびに付属品の有無を確認してください。

ダンボール梱包のフタ部には、「取付け穴テンプレート」 が印刷してあります。

5. 2 最高使用圧力の確認

リールに貼付されていますラベルにて、最高使用圧力（MPa）を確認してください。

最高使用圧力	水	エアー	オイル
1.2 MPa	○	○	
1.5 MPa	○	○	○
5.0 MPa			○
18 MPa	○（注1）		

（注1） 高圧洗浄用；このリールは、最高使用圧力と最高使用温度の同時での使用は出来ません。
温水最高使用温度＝150℃

6. 取付け･接続方法

6. 1 取付け方法

このリールは、下図の様に壁･床または天井に取付けることが出来ます。

1） 床からの取付け可能高さは、最大4メートル迄です。

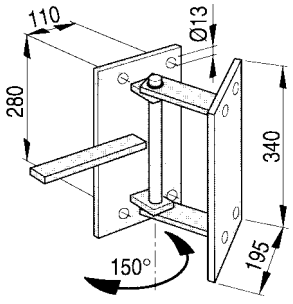
2） 取付けに際しては平らな場所を選び、テンプレート（ダンボールに印刷）で取付け穴の位置決めをします。

3） 取付けボルトは、リールが確実に固定できるものを使用してください（M12 六角ボルト）

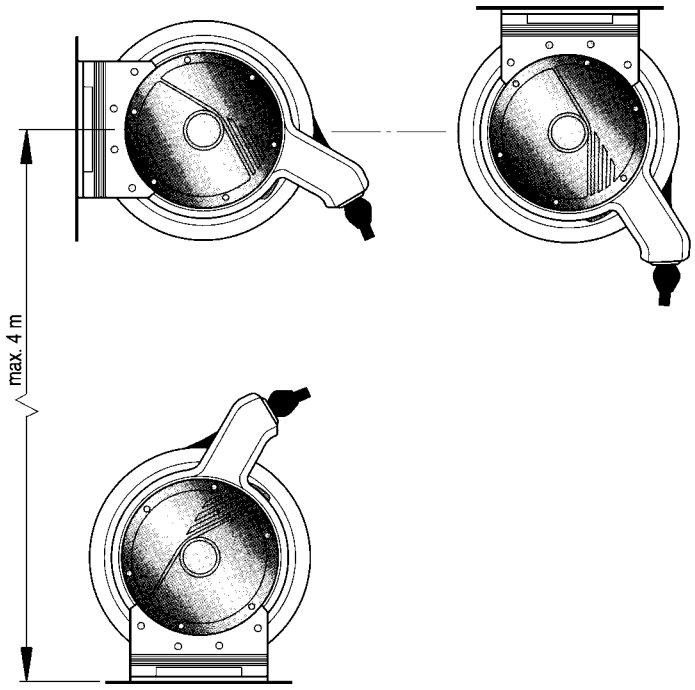
4） リールの質量（ホースを含む）
約28～30 kg（温水用は 35.8 kg）

⚠ 注 意

- 取付け場所を決めるにあたっては、直射日光の当たる場所や薬品の傍を避けるようにしてください。
ホースの寿命に影響がおよぶ場合があります。



オプション：壁掛けスイングブラケット



6．2 サービスホース出口方向の決定　（下図 A 部）

サービスホース出口の方向は、アウトレットアームを回転させて任意の位置に固定することができます。ガイドローラに対し、ホースの曲がり角度が最小になるような角度に設定してください。

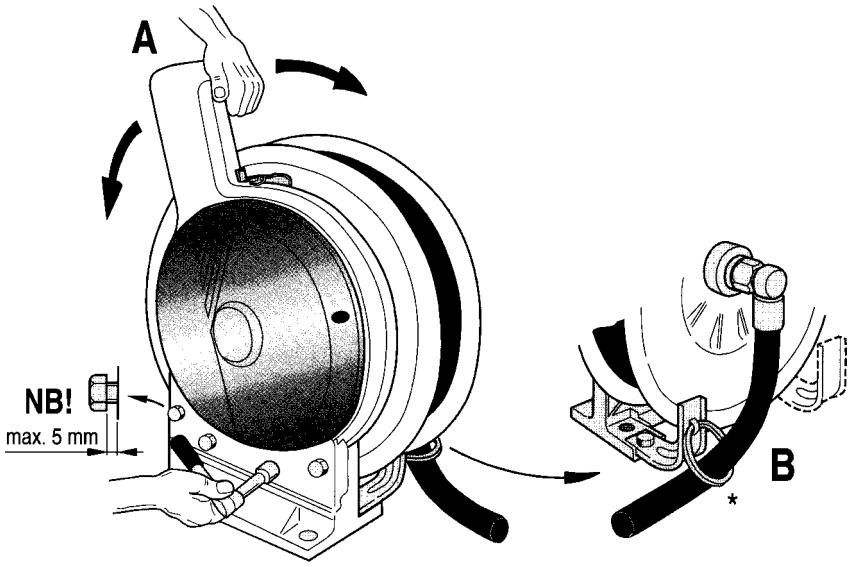
図のようにレンチで取付けボルトを少し緩めてアウトレットアームを回転固定します。このときボルトは 5 mm 以上緩めないでください。

6．3 配管への接続　（下図 B 部）

1）イン側ホースは、0．5m以上の固定配管に接続してください。

2）ホースは、ブラケットに付いているリングに通し、ホースがねじれたり引張られたりしないか確認してください。

3）イン側ホースと配管の間には必ずストップバルブを設けてください。

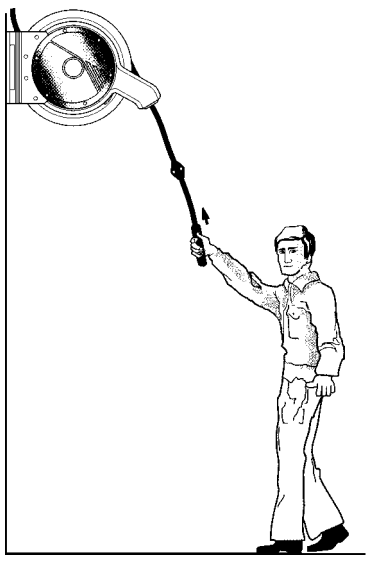


NOTE ： **NB !**（よく注意せよ！）最大 5 mm

7．取扱い

7．1 ラチェット機構

このホースリールは、ラチェット機構を採用していますのでホースを任意の長さで止めることができます。ホースを少し引くとラチェット機構が解除され、サービスホースはドラムに巻き取られます。その際、ホースが全て巻き取られるまでホースに手を添えて巻き取らせてください。



⚠ 注 意

- ホースを巻き戻す時は、ホースから瞬時に手を放すと急激に巻き上げられ危険です。

7．2 ホースの選択

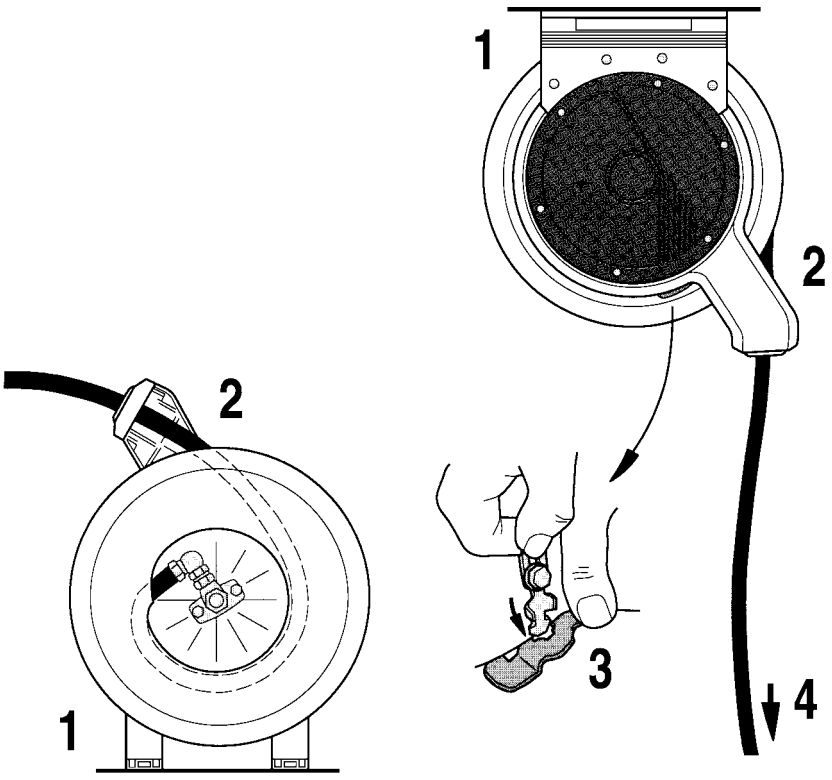
ホースを選択する際は、リールに添付されている識別ラベルで寸法と最高使用圧力を確認してください。
本取扱説明書の4ページも参照してください。

7．3 ホースの取付け

1）適切な場所にリールを取付けてください（下図:1）
2）ホースをホースガイドに通してからホースの片端をドラムのスィベル部に接続し、残り部分のホースを全て伸ばして床に置きます（下図:2）
3）セーフティキャッチ(安全装置)を外します（下図:3）
4）ホースを矢印方向に少し引きラチェット機構を解除したら、ホースをゆっくりとドラムに巻き取らせます（下図:4）
5）最後に2つ割り構造のホーストップをホースに取付けます。

⚠ 注 意

- リール内のスプリングは張った状態になっています。ケガをする恐れがありますのでホースの取付けは十分理解してから行なってください。



7．4 スプリング張力の調整（下図）

1）ホーストップがホースガイドに当たる迄ホースを巻き取ります。

2）次いで、ラチェット機構が働く所までホースを引き出し、ホースの先端に使用しているガン等を取り外します。

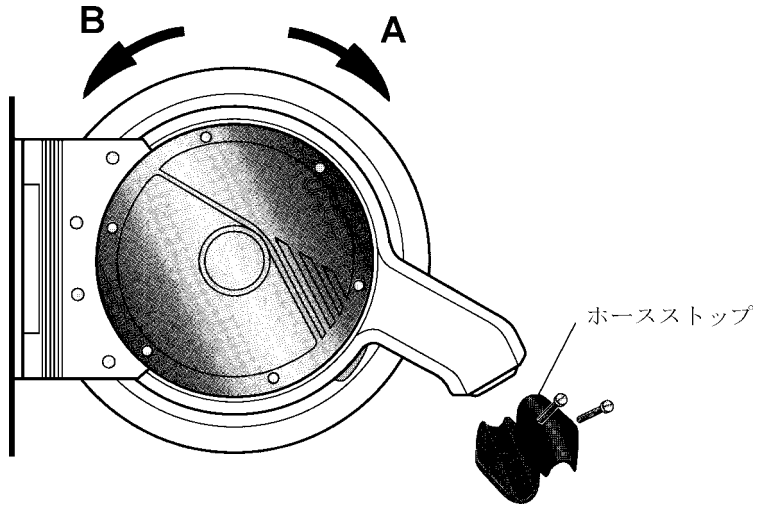
3）全てのホースが巻き取られた状態のドラムを「A」の方向に回すと張力が強くなり、「B」の方向に回すと張力が弱くなります。

4）取り外したホーストップとガンを取付けます。

5）最後に、スプリングが伸び切らずに、ホースが任意の長さに引き出せるかどうか確認してください。

⚠ 注 意

- 張力調整はケガをする恐れがあります。保護用の手袋を着用してください。



8．保守・点検 （右図）

少なくとも年に1回は定期的なメンテナンスを行なってください。

ホース・パッキン類は消耗品です。定期的に点検し、傷・摩耗などがある場合には、早めに販売店・サービス店に交換を依頼してください。

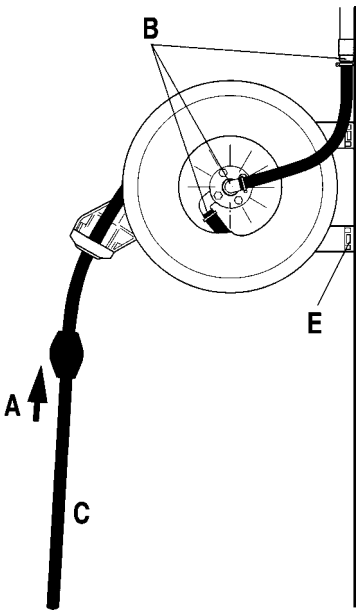
A. ホースが適切に巻き取られられるかどうかテストをし、スプリングが正常に働いているかどうか確認してください（A 部）

B. スィベルやホースの口金から液洩れがないかどうか確認してください。必要な場合はシールを交換してください（B 部）

C. ホースに傷がないかどうか確認してください。オイルやホコリで汚れている場合は清掃してください（C 部）

D. ラチェット機構が正常に働くかどうか確認してください。

E. リールが壁や天井に確実に取付いているかどうか確認してください。（E 部）



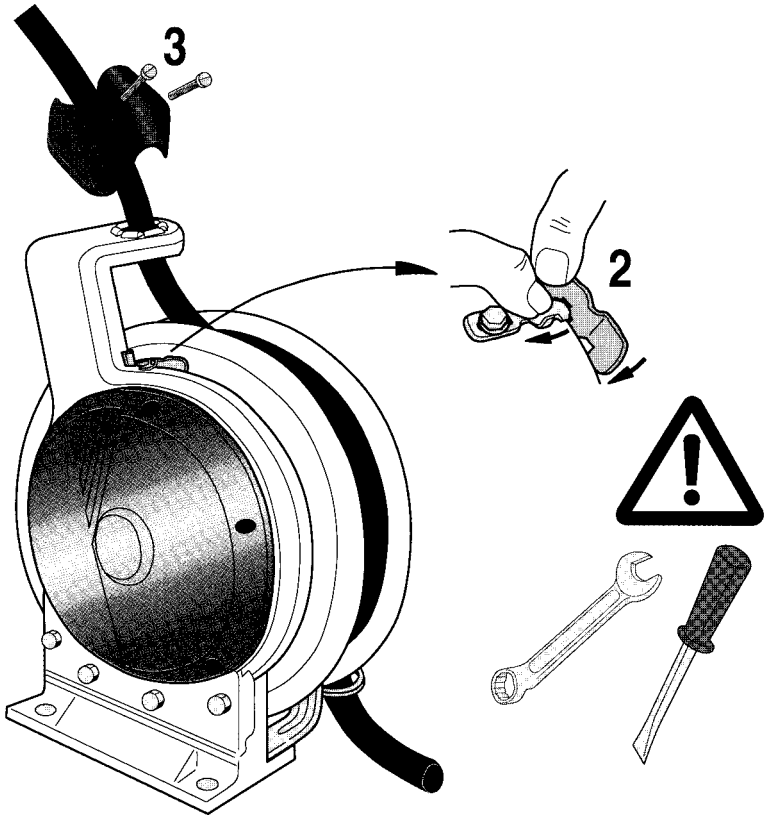
9. 修理について

修理が発生しました場合には、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

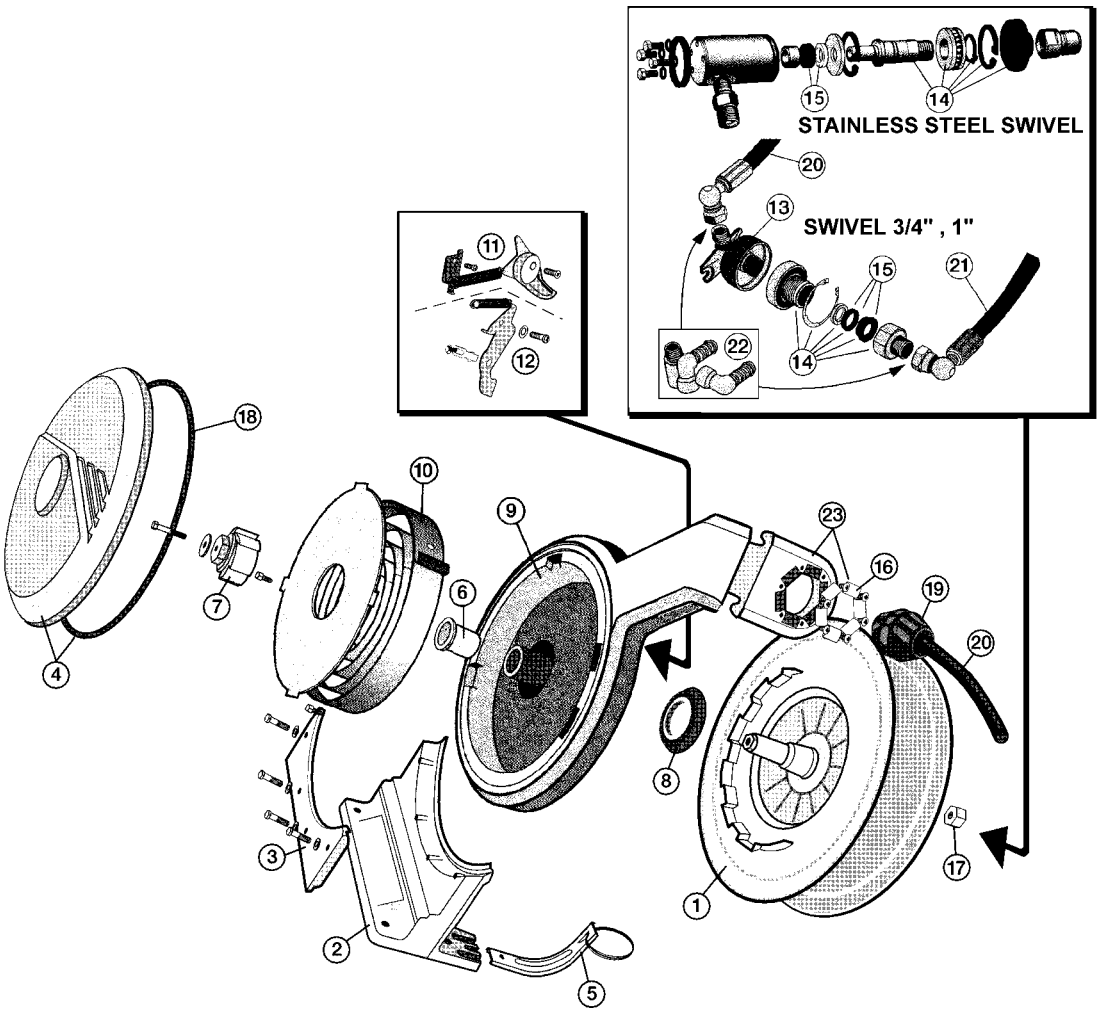
1. 使用しているエアー・水・オイルの供給を止めてください。
2. ホースまたはスィベルを交換する前には、セーフティキャッチ(安全装置)を必ず装着してください（下図 2）
3. その他全ての修理作業を行なう前には、ホーストップを外し、ホースを完全に巻き取らせて、スプリングの張力をなくしてください（下図 3）

⚠ 注 意

- 修理は、必ず販売店に依頼してください。
- リール内のスプリングは張った状態になっています。ケガをする恐れがありますので修理の際は保護用手袋を着用してください。



10. 部品分解図

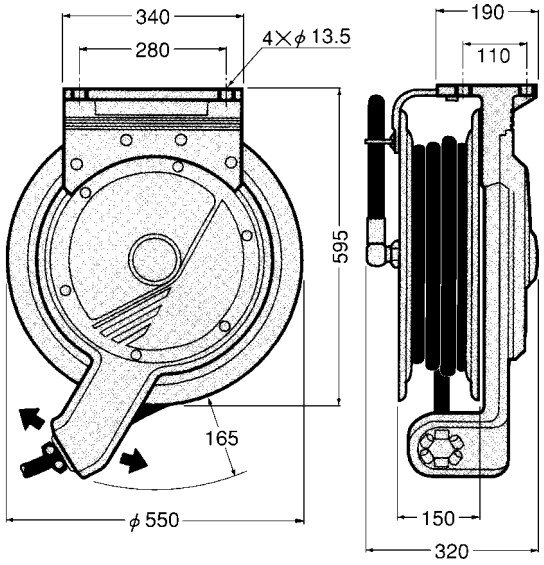


記号	名称	記号	名称
1	ドラム	13	スィーベルハウジング
2	ブラケット	14	スィーベル
3	クランプ	15	シール
4	カバー	16	アウトレットローラセット
5	ホースガイド	17	インサート
6	ブッシング	18	ラバーワッシャー
7	スプリングハブ	19	ホーストップ
8	ベアリング	20	サービスホース
9	スプリングユニット (アウトレットアーム付)	21	イン側ホース
10	スプリングユニット	22	ニップルセット
11	ラチェット	23	アウトレット(ローラ付)
12	セーフティキャッチ		

11. 仕様と外観寸法

用 途	製品番号	型 式	サービスホース	イン側ホース	最高使用圧力 (MPa)	質量 (ホース含む) (kg)
			ホース口径 × 長さ			
エアー・水	N810284	NSHR－4WA20	1/2”×20 m	1/2”×1 m	1.5	27.6
	N810484	NSHR－6WA15	3/4”×15 m	3/4”×1 m	1.2	28.2
	N810684	NSHR－25WA10	1”×10 m	1”×1 m	1.2	30.1
オイル	N812884	NSHR－4G15	1/2”×15 m	1/2”×1 m	5.0	26.8
	N811884	NSHR－4G20	1/2”×20 m	1/2”×1 m	5.0	31.4
	N812284	NSHR－6G15	3/4”×15 m	3/4”×1 m	5.0	33.4
	N825284	NSHR－25G10	1”×10 m	1”×1 m	5.0	30.8
温水 (注1)	N811684	NSHR－3WH25	3/8”×25 m	3/8”×1 m	18	35.8

（注1） 温水の最高使用温度は 150℃です。
但し、最高使用温度と最高使用圧力の同時での使用は出来ません。



12. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず、保証期間内に万一弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。
ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

2.保証内容：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O - リング、ボール、バルブシートなどの消耗品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類　・各種パッキン類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年とさせていただきます。
製造打ち切り後 5 年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

（控）

型　　式	
製　造　番　号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

⚠ **安全に関するご注意 ／** ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、性能・寸法など改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社 ヤマダコーポレーション

本社・営業部　〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号　TEL(03)3777-4101(代)　FAX (03)3777-3328
札幌営業所　〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号　TEL(011)821-0630(代)　FAX(011)821-0949
仙台営業所　〒983-0034 仙台市宮城野区扇町 2 丁目 2 番 44 号　TEL(022)232-4743(代)　FAX(022)232-4756
東京営業所　〒143-0025 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号　TEL(03)3777-3171(代)　FAX(03)3777-6770
名古屋営業所　〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号　TEL(052)795-0222(代)　FAX (052)795-0444
大阪営業所　〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号　TEL(06)6971-5301(代)　FAX(06)6974-0497
広島営業所　〒733-0833 広島市西区商工センター5 丁目 3 番 5 号　TEL(082)278-5341(代)　FAX(082)278-5310
福岡営業所　〒816-0088 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号　TEL(092)581-5477(代)　FAX(092)581-6524
相模原工場　〒229-1112 神奈川県相模原市宮下 1 丁目 2 番 38 号

YAMADA AMERICA Inc.　1200 Nuclear Drive West Chicago, Illinois 60185, U.S.A　Tel　1-630-231-4083
YAMADA EUROPE B.V.　Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo-The Netherlands　Tel 31-0-74-242-2032

200303HRS001U